

第2回 横浜市踊場公園こどもログハウス指定管理者選定委員会議事録	
日 時	令和3年7月21日（水）午前10時00分から11時15分まで
開催場所	戸塚区役所6階 中会議室
出席者	菊池委員長、市川委員、福本委員、山ノ内委員、渡辺委員 区）地域振興課長 岩崎、 区民利用施設担当係長 情野、田中、鈴木、青木
欠席者	なし
開催形態	公開（傍聴者0人） 審議については、非公開
議 題	1 定足数の確認 2 申請団体によるプレゼンテーション及び質疑応答 3 審議
決定事項	1 定足数の確認 委員全員が出席のため、委員会は成立 2 横浜市踊場公園こどもログハウス指定管理者の候補者について 公募要項で定める最低基準の6割を超えたことを確認し、「公益社団法人とつか区民活動支援協会」を指定候補者として区長に報告する。
質疑応答	「公益社団法人とつか区民活動支援協会」によるプレゼンテーション10分を実施 <b>【質疑応答】</b> 委員) ログハウスは子どもだけで利用することが可能だが、不審者が現れた場合を想定してどのような訓練を実施しているか。 団体) 不審者対応用の行動マニュアルを作成しており、年に1回はロールプレイングで訓練を実施している。 委員) 最近ではコロナ禍の影響で精神的なダメージを受けている子どももいる。青少年の健全育成という観点で、子どもを取り巻く環境や障がいについての研修は実施しているか。 団体) 過去に3回ほど任意でスタッフが研修を受けており、受講していない他のスタッフにもフィードバックしている。 委員) 研修ではなく、実際に配慮が必要な子どもが来た場合には、具体的にどう対応するか。 団体) 配慮が必要な子どもの場合、どうしたら楽しく遊ぶことができるかについて保護者や付き添いの方と話をしながらご利用いただいている。 委員) 平日には大体何人くらい中高生のボランティアが参加されるか。 団体) 平日にお願いしているのではなく、休日のイベントの際や事前準備の手伝い等にボランティアに来てもらっている。 委員) 教育関係への就職を希望している大学生等がボランティアを探しているという話もあるが、そういった人に対する声かけの予定はあるか。 団体) 現在は中高生のボランティアに参加していただいているが、大学生にも広げられないかと考えている。

	<p>委員) 利用者の多くが施設から30分以内に居住している子どもという話だが、少し離れたところに居住している子どもや保護者でも行きやすいと良い。何か考えはあるか。</p> <p>団体) イベントを多数実施しており、広報誌やHPでも告知をしているため、ご覧になった子どもや保護者が来ることも多い。最近ではHPやブログの更新に力を入れており、楽しく閲覧し、興味を持ってもらえるよう工夫している。</p> <p>委員) 利用者数と比較すると利用者アンケートの回答数が少ないと思うが、アンケートの回答は子どもと来館した保護者が回答したものか。</p> <p>団体) 小学生が半分、保護者が半分という回答実績だった。</p> <p>委員) 近隣の小中学校との連携の一環として、施設に対してどのような要望があるか等の聴き取りやアンケートは実施しているのか。</p> <p>団体) アンケートというほどではないが、近隣の小中学校には年に数回伺い、学校側の求めることや、施設としてサポートできる部分についても話をしている。</p> <p>委員) 同種の施設では使用しているPCから情報が漏洩したという事件もあったが、情報漏洩について具体的に実施している対策はあるか。</p> <p>団体) 来館者に関する情報は紙ベースで管理しており、現在は感染症対策の一環として1か月程度保管しているが、それ以前は情報漏洩に繋がらないよう毎日処分していた。</p> <p>委員) 他施設と兼務している館長が、ログハウスに勤務する日数が週2日となっているが、少ないと感じることはないか。</p> <p>団体) 限られた指定管理料の中で工夫して運営している。なるべく足を運ぶように意識しており、それ以外にもメールや電話で連絡を取っている。現状、館長以外のスタッフがしっかりと施設内を見ることができているため、運営に対する不安等はないと考えている。</p> <p>委員) 団体の考えるログハウスの未来図について聞きたい。</p> <p>団体) 赤ちゃんのときから遊びに来ていて、小学生になり、中学生になってログハウスを卒業して、高校生になってボランティアでログハウスに帰ってきて、最終的には親になって自分の子どもを連れてくる、そういったサイクルが出来れば良いと考えている。</p>
特記事項	